

銀行、コンビニ、商業施設
などのATMの
スキミング被害対策

最近、またATMでのカードスキミング被害が報告されています。

たとえば、とあるATMでは、正常なカード差込口がこういう風なデザインであるはずが…



そこにスキミング装置を内蔵した薄いカバーが知らないうちに取り付けられ…

こんな風になってしまった…なんて事がありました。



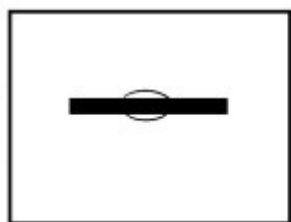
ぱっと見では気づかないくらい小型化している

こういうスキミング被害って、たった一つの事をやれば、大きく被害を減らせます

しかもソフトウェアの書き換えのみなので、コストはほとんどかからない



それは、ATM操作中に、必ず
こういう警告を『画面いっぱい』に
表示するページを挟むようにし、

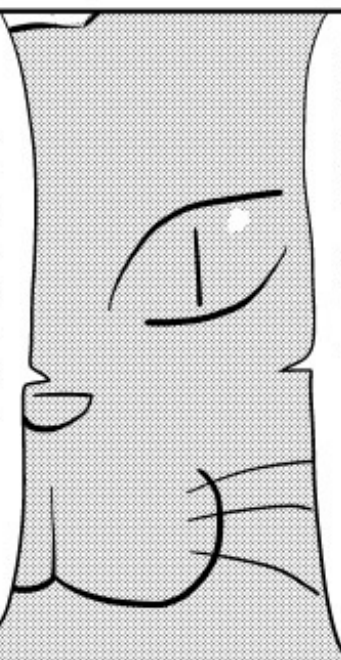


正常なカード差込口
は、こういう形です。

カード挿入前に、
不審なカバーが取り
つけられていないか
必ず確認してから、
「OK」のボタンを
押してください。

毎回使用者にカード差込口の形に
おかしいところがないか必ず
調べさせてから、次のページへ
行かすようにするのがいいです。

すでに一部のATMではこれを
やっているとところもありますが、
やってないATMでスキミング
被害が起きないように、



国は国内全てのATMで、
こういう警告画面をATM操作中
に挿入するのを義務化させるべき

ATM未使用時にトップページに
表示しておくだけだと、見ずに
飛ばしてしまう人が出てくるので、

ATM未使用時のトップ画面の
一部に表示するとともに、
ATM使用中の途中のページでは
『画面いっぱい』使って警告表示：
の二段構えでいくのが望ましい

画面いっぱい使わずに、画面の
一部に表示して警告すると、
そっちを見ずに飛ばす人も出て
きてしまうので注意。

画面のどこを押しても次のページに行く方式だと、連打したりして飛ばす人が出てくるので、

カード差込口は正常な場合は上記画像です。

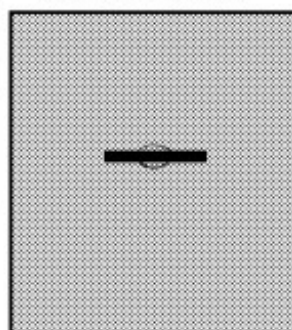
差込口および、その周辺に異変はありませんか？

確認しました

この警告画面は、画面内の『確認しました』のボタンを押して、次のページへ行く方式にすべきです。

あと、差込口のドアップ画像のみ見せる方式だと、差込口のデザインを似せた大型の装置をかぶせてくる事があるので

以下のような型装置をかぶせてく



差込口は本物とまったく同じデザインで、差込口の形状にのみ注意すると、気づかない

差込口のドアップ画像ではなく、『差込口とその周辺の画像』を見せて比較させないといけません。

警告画面見る前に、先にカードを出てくると思うが…



スキミング装置の中には、無線通信で常にデータを送信して、カードを入れてしまった瞬間にデータが抜かれる事に…